「地域総がかりで子どもを育て、知の循環型社会の構築を」
それは公民館の仕事です　【長門市　菱海中学校区】

地域の概要

油谷地域は旧油谷町に位置しており、高齢化率は市内最大の44.2%となっています。問題は、これに伴う地域全体の「やる気・意欲の低下」です。子どもを真ん中に置いて高齢者とつなぎ、地域全体のやる気や意欲を取り戻し、「知の循環型社会」を構築していく公民館の手法に期待が集まっています

人　　口		6,748 人
世 帯 数		3,050 世帯
対象校及び児童生徒の数	菱海中	121 人
	油谷小	141 人
	向津具小	34 人

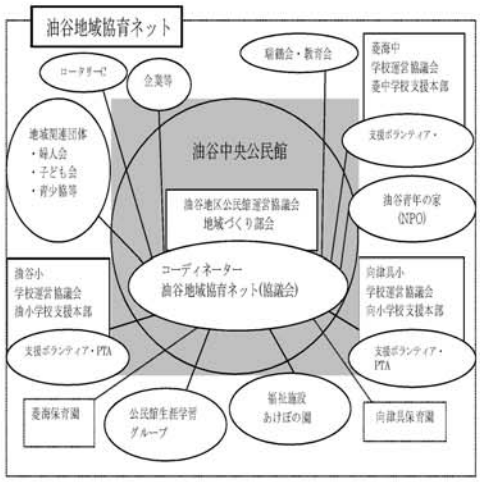
組織の内容

【これまでの経緯】

発端は平成 19 年度から 21 年度、油谷小学校がコミュニティ・スクールと学校支援本部事業の指定を受けたことに始まります。公民館では「地域総がかりというとき、それは公民館の仕事である」と考え、この成果を引き継ぎ、より実践的で継続可能な仕組みづくりに取り組んできました。

【公民館を中心とした組織づくり】

公民館には「より良き地域づくり」という使命があります。より良き地域の中に、より良き学校や子どもたちが存在します。学校や子どもが良くなることは地域が良くなることであり、地域が良くなることは学校や子どもが良くなることです。特に過疎化と高齢化の進む本地域にあって、住民がこぞって学校や子どもを支援することは、逆に子どもからエネルギーをもらい、それが生きがい感となり、絆を強め活気のある地域づくりや知の循環型の地域づくりにつながっています。元々わが公民館には公民館を運営する協議会を設けており、その組織の中で「おしかけふれあい塾」を主催し、これをコーディネートする公民館を、油谷地域協育ネットの中核として取り組んでいます。



【運営の方法】

本地域協育ネットは、子どもにかかわる既存の組織や学校を支援してきた団体・個人の上に「地域総がかりで子どもを育てる」という趣旨での「油谷地域協育ネット」の網をかぶせ、本地域協育ネットへの参加を依頼して運営しています。実際の運営は、コーディネーターを中心に３小・中学校の学校運営協議会事務局及び地域担当教員で幹事会を組織し、柔らかで実働的な形で推進にあたっています。今では「４日に１回は地域住民が学校へ行っている」計算となり、また、合言葉の「学校・教師100%+地域の力 20%＝120%で子どもを育てる」では、学校へ地域住民が行った回数が 120%に達成し、地域の人たちが学校へ行かれるのは当たり前のようになっており、子ども・教師そして地域の方々（特に高齢者）の笑顔が学校中に弾けています。

【コーディネーターの役割】

①本地域教育ネットへの参加依頼、及び地域総がかりの取組みの成果を可視化して団体・個人へ報告　②本地域協育ネット幹事会の企画や運営　③各学校から地域の支援がほしいとき、あるいは、公民館や地域から学校へ働きかけるときの相談活動、連絡調整等支援活動　④学校・子ども支援の実際の把握と成果や課題の集積　⑤その他、地域協育ネットとして必要な事項